第2回民生教育まちづくり常任委員会

令和6年6月20日（木）午前9時30分

下呂市役所下呂庁舎 3-1会議室

1. 委員長挨拶

2. 市長挨拶

3. 議長挨拶

4. 付託案件

(1) 議第60号 財産の譲与について

(2) 議第61号 財産の譲与について

(3) 議第62号 財産の譲与について

(4) 議第63号 岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約について

(5) 議第66号 下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について

出席委員（7名）

委員長 中島 ゆき子

副委員長 森 哲士

委員 桂川 融己

委員 大西 尚子

委員 高井 範和

委員 鷺見 昌己

委員 中島 達也

欠席委員（なし）

委員外議員

議員 下平 裕次郎

議員 桂川 いずみ

議員 加藤 久人

議員 田口 琢弥

議員 田中 喜登

議員 今井 政良

説明のため出席した者の職・氏名

市長 山内 登

副市長 田口 広宣

教育長 中村 好一

総務部長 野村 穰

総務部次長兼秘書課長 杉山 由美

まちづくり推進部長 田谷 諭志

市民保健部長 森本 千恵

市民サービス課長 二村 和男

市民サービス課対策監 河合 純佳

健康課長 加藤 冬城

地域振興部長 大坪 孝弘

金山振興事務所長 池戸 清伸

金山振興事務所副所長 中島 一栄

福祉部長 小澤 和博

高齢福祉課長 竹田 太

こども家庭課長 奥田 真一郎

職務のため出席した者の職・氏名

議会事務局長 田添 誠

議会総務課長 細江 隆義

議会総務課主任主査 柿ヶ野 明 広

○委員長（中島ゆき子議員）

おはようございます。

ただいまから第2回民生教育まちづくり常任委員会を開会いたします。

出席委員は7名で、定足数に達しており、委員会は成立しております。

なお、本日1番、5番、6番、8番、10番、13番議員より傍聴の申出がございましたので、これを許可いたします。

市長、挨拶をお願いいたします。

○市長（山内 登）

おはようございます。

今日も付託案件、協議報告事項ございますので、どうぞよろしく願いいたします。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

ありがとうございました。

続きまして、議長、挨拶をお願いいたします。

○議長（中島達也議員）

連日御苦労さまです。

この前、ちょっと全協で東京へ行った話をもう少し詳細に聞きたいということだったので、ちょっと時間をいただいて。今回の東京の出張につきましては、下呂市単独要望ということで、今井県議と私が山内市長に随行するような形で、国道41号線の強靱化、それから濃飛横断の事業促進の要望に行ってまいりました。特に国道41号線東上田区間が今までに240ミリという雨量規制があったんですが、大体の落石防止工事なんかも終わったということで350ミリに緩和されたというようなお礼も市長自らもされておりました。

それから、国交省石橋政務官、それから丹羽道路局長、吉岡技官、それから内閣府の竹島企画官は、金子衆議院議員に同行して要望書とお礼を申し上げたというところでございます。

それから、あと金子事務所の秘書の案内で14名の関係課長へも要望書を渡しました。今まで山内市長がトップセールスされていたおかげといいますか、どこの部署でも好意的で非常に内容を熟知されておりまして、大変充実した要望活動でありました。

翌日は、県選出の国会議員の9名の事務所のほうへも要望書を渡してきました。今後も、山内市長、単独要望をやりたいというようなことをおっしゃっていますので、国とか、名古屋の中部地整、あるいは県のほうの単独要望も多くなっていくと考えています。

また、今、下呂市の職員は、岐阜県の東京事務所と観光庁へ派遣されておりますが、彼らが本当に一生懸命やっただいておるなということで、またこっちへ帰ってもらったときにいろんな引き出しを持って帰ってくれるかなというような思いでいっぱいです。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

ありがとうございました。

東京での御報告をいただきました。どうもありがとうございます。

報道機関より、傍聴の申込みがございましたので、これを許可いたします。

それでは、ただいまから付託案件の審査に入りますが、委員の皆様の質問は簡潔明瞭にまとめていただき、再質問は2回をめぐといたします。ただし、委員長が認めたときはこの限りではありません。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

また、答弁についても簡潔明瞭をお願いいたします。

なお、当委員会の採決は、全ての付託案件審査終了後、議案ごとに行います。

議事録作成のため、必ずマイクのスイッチを入れ、赤いランプが点灯したのを確認後、役職と氏名を名のってからお願いいたします。

本日は、令和6年第4回下呂市議会定例会において、当委員会に審査を付託されました議第60号から議第63号までの4議案及び議第66号、合わせて5議案について審査いたします。

委員及び執行部の皆さんは、円滑な進行となりますよう御協力をお願いいたします。

それでは、議第60号 財産の譲与について、議第61号 財産の譲与について、議第62号 財産の譲与について、3件を一括で説明をお願いいたします。

○健康課長（加藤冬城）

議案書の23ページをお願いいたします。

議第60号 財産の譲与につきまして説明をさせていただきます。

1. 譲与する財産。譲与いたします財産は、超低温冷凍庫2台、国から寄附されたものでございます。

2. 譲与する相手。相手先は、益田川漁業協同組合、組合長 島博文氏でございます。

3. 譲与する理由。新型コロナワクチン接種のため国から寄附された超低温冷凍庫について、内水面漁業の振興のため益田川漁業協同組合に譲与するものでございます。

4. 譲与日は、令和6年7月1日でございます。令和6年6月5日提出。

提案理由でございます。

地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

続きまして、24ページをお願いいたします。

議第61号 財産の譲与につきまして説明をさせていただきます。

1. 譲与する財産。譲与いたします財産は、超低温冷凍庫1台、国から寄附されたものでございます。

2. 譲与する相手。相手先は、馬瀬川上流漁業協同組合、組合長 石神伝氏でございます。

3. 譲与する理由。新型コロナワクチン接種のため国から寄附された超低温冷凍庫について、内水面漁業の振興のため馬瀬川上流漁業協同組合に譲与するものでございます。

4. 譲与日は、令和6年7月1日でございます。令和6年6月5日提出。

提案理由でございます。

地方自治法96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

続きまして、25ページをお願いいたします。

議第62号 財産の譲与につきまして説明させていただきます。

1. 譲与する財産。譲与いたします財産は、超低温冷凍庫1台、国から寄附されたものでございます。

2. 譲与する相手。相手先は、馬瀬川下流漁業協同組合、組合長 河尻光太郎氏でございます。

3. 譲与する理由。新型コロナワクチン接種のため国から寄附された超低温冷凍庫について、内水面漁業の振興のため馬瀬川下流漁業協同組合に譲与するものでございます。

4. 譲与日は、令和6年7月1日でございます。令和6年6月5日提出。

提案理由でございます。

地方自治法第96条第1項第6号の規定により議会の議決を求めるものでございます。

説明は以上でございます。御審査のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ただいま御説明をいただきました議第60号、議第61号、議第62号について質疑を行います。

質疑はありませんか。

○委員（鷲見昌己議員）

ちょっと私知りませんので教えてほしいんですが、この超低温冷凍庫のこれは実際にどれぐらいの容量のものなのかということをお教えいただきたいというのが1点。

もう一つが、今後また新型コロナのように、また流行が来たときに、この冷凍庫というのは多分ワクチンを入れるために必要かと思うんですけれども、どれぐらいこれ譲渡した上で在庫があるのかということと、そういう場合に新たにまた必要になったときどういうふうにするのかということと、この辺、国のほうの見解も多分あると思うので、その辺も含めて教えてください。

○健康課長（加藤冬城）

まず、容量につきましては、こちら4台のうち一番大きいもので84リットル、小さいものと70リットルということでございます。おおむね今までですと、ファイザーのワクチンですと20箱ほど保管できるような形で使用しておりました。

続きまして、在庫につきましてなんですけれども、国から寄附されました超低温冷凍庫につきましては5台寄附されております。このうち4台を譲与しまして、残り1台、こちらの1台につきまして、今後、再び市でワクチンを保管するようなことが起きた場合に備えまして1台は保管するというふうに考えております。

その後なんですけれども、急遽に備えましての1台で足りまして、その後は長期的な捉え方になると、そこはそこで考えていく必要はあると思っております。

当面の急遽に対し、緊急に対しましては、まず1台を使用しまして、そちらで備えるというふうに思っております。またそれがもし長期化するような場合がありましたら、またそのところを協議しながら、購入のほうや国への要望等をしていきたいというふうに捉えております。

○委員長（中島ゆき子議員）

あと、国の方針、国はこのことについて。

○健康課長（加藤冬城）

国のほうですと令和5年12月19日付で厚生労働省より、市に無償譲渡した超低温冷凍庫について、可能な限り有効活用をするようにということで活用事例を添えまして事務連絡がございまして、それでこのような形になっていっておるということでございます。

○委員（鷺見昌己議員）

ありがとうございました。

国のほうからも有効活用するようにということで、この意味するのは、確かに機械のほうも置いておくと悪くなるので、これは非常に大事なことと思いますが、さっき言ったように、緊急に対しては1台で何とかなるだろうけど、その後についてもしっかりと検討しておかないと、そのときにはやっぱりまた国のほうでこういう指示が出ている以上、また応援していただくなり、対処してもらいなり、何かその辺をしっかりとシミュレーションをしておいていただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○委員（中島達也議員）

この委員会しか質問する機会がないので、ちょっとお時間をいただきたいと思うんですが、まず新しい方も見えますので、財産の譲与と譲渡の違いを説明してください。

それと、今鷺見委員も言われましたが5台のうち4台、再利用といいますか、これについては全然問題ないんですが、例えば今回公募をされて3漁業組合が一応譲与されているわけですが、公平性の問題から指名入札があったのか、公募で対応したのか、その辺のこと。

それから容量、何十リッターとさっき言われたんですが、魚でいえば何匹ぐらい入るのか、ちょっとこの辺も一応、イメージが湧かないので。あと今後の緊急時の場合については、今、鷺見委員が指摘したもんですから、その辺は十分配慮いただきたいと思います。ちょっとその辺のことについてお願いします。

○健康課長（加藤冬城）

まず、譲渡と譲与の違いということなんですけれども、有償ですと譲渡という言葉を使いまして、無償ですと譲与というようなすみ分けをしております。

○委員長（中島ゆき子議員）

入札したか。

○健康課長（加藤冬城）

公募のほうはしておりません。市としましては、活用事例を踏まえまして公益性を考え、まず各部署に聞き取りし、また検討をさせていただきまして答えていただいております。ただ、超低温冷凍庫はマイナス70度前後で保管するという非常に用途の限られた機械でありますため、市の業務としても公益性のある活用案はなかなか出ず、こちらのほうは当初不要物品になるかもしれないということで、廃棄のほうも視野に入れておったんですけれども、こうした中、他県におきま

して漁業協同組合へ、利き鮎コンテストの出品等に活用したという、そういう情報を得ましたので、市内の各漁協に希望照会をいたしまして、それぞれ申入れがありましたので、公益となります内水面漁業の振興に資するということを条件としまして、今回の上程というふうな経緯となりました。

何匹入るかということですが、すみません。ちょっとそちらの使い方についても利き鮎コンテストへの保管ということで、だだくさに積み上げていくようなことはちょっとないとは思っておるんですけども。

○委員長（中島ゆき子議員）

よろしいですか。

○委員（中島達也議員）

分かりました。ありがとうございました。

○委員長（中島ゆき子議員）

ほかにございませんか。

○委員（高井範和議員）

2つお聞きします。

1つは、大型と2種類あるようですが、大体買うと幾らぐらいのものなのかということと、2つ目は、直接この冷凍庫ではないんですけども、コロナのときに、こうやって国から無償で渡されたもの、何かほかにもあるんでしょうか。以上です。

○健康課長（加藤冬城）

幾ら程度になるかということなんですけれども、基本的に国が購入して市に寄附されたということで正確な価格は分かっておらないんですけども、ただ、国の公表資料によりますと、超低温冷凍庫9,000台を64億110万円で取得しているということですので、単純に割返ししますと、取得価格は1台当たり64万6,576円程度になるのではないかとこのように思っております。

また、取得しましてから3年経過し、耐用年数を6年としますと償却率が0.5になります。

○委員長（中島ゆき子議員）

すみません。ちょっとお待ちください。

午前9時49分 休憩

午前9時50分 再開

○委員長（中島ゆき子議員）

続きをお願いいたします。

○健康課長（加藤冬城）

償却率が0.5というふうに考えますと、残存価格は1台32万3,288円程度になるのではないかとこのように思っております。

ほかに譲与されたものということなんですけれども、大きいものでございますと、このほかに超低温ではなくてマイナス20度ぐらいで保存する冷凍庫がございます。3台ありました。1台

は、中原診療所のほうに使うということで、もう移動済みでございまして、残り2台につきましては、消防署のほうへ渡しております。あと、細々としたものとクーラーボックスやそれに伴う保冷剤等、細々したものはいただいております。以上です。

○委員長（中島ゆき子議員）

ほかにございせんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で議第60号、議第61号、議第62号についての質疑を打ち切ります。

続きまして、議第63号 岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約についての説明をお願いいたします。

○市民サービス課長（二村和男）

議案書の26ページをお願いします。

議第63号 岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約について。

地方自治法第291条の3第1項の規定により、岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約を別紙のように定める。令和6年6月5日提出。

提案理由でございますが、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部改正に伴い、当該規約の一部を改正するものでございます。

詳細は規約要綱で説明いたしますので、28ページをお願いします。

1. 改正理由。

改正理由ですが、提案理由と同じ部分は省略させていただきます。改正理由の2行目中ほどからとなります。

なお本件議決は、地方自治法第291条の3第1項で「広域連合の規約を変更しようとするときは、関係地方公共団体の協議によりこれを定める」並びに法第291条の11において「第291条の3第1項の協議については、関係地方公共団体の議会の議決を経なければならない」とされていることによるものです。

2. 概要。

(1)マイナンバーカードと被保険者証が一体化され、被保険者証が廃止されることに伴い、別表第1の「被保険者証及び資格証明書」を「資格確認書等」に改めます。

別表関係です。(2)この規約は、令和6年12月2日から施行します。

附則関係でございます。下には、関係します地方自治法の抜粋を記載しております。

説明は以上です。御審査のほどよろしく申し上げます。

○委員長（中島ゆき子議員）

ただいま御説明をいただきました議第63号について質疑を行います。

質疑はありませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で議第63号についての質疑を打ち切ります。

続きまして、議第66号 下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について説明をお願いいたします。

○こども家庭課長（奥田真一郎）

まず、昨日、本議案につきまして、字句の誤りにより議案訂正いたしましたこと、深くおわび申し上げます。申し訳ございませんでした。

それでは、議案の説明をさせていただきます。

議案書35ページを御覧ください。

議第66号 下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について。

下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例を、別紙のとおり定める。令和6年6月5日提出。

提案理由でございます。

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令の公布に伴い、当該条例の一部を改正するものでございます。

改正の概要等につきましては、条例要綱にて説明をさせていただきますので、議案書の39ページを御覧ください。

1の改正理由につきましては、先ほどと同様となりますので、2の概要から説明をさせていただきます。

まず、(1)についてでございます。

小規模保育事業及び事業所内保育事業などを行う事業所において、満3歳以上満4歳未満の園児おおむね20人につき1人以上の職員を置くこととされているところを、おおむね15人につき1人以上とするよう改め、満4歳以上の園児おおむね30人につき1人以上の職員を置くこととされているところを、おおむね25人につき1人以上とするよう改めるものでございます。

次に、(2)でございますが、本条例は、公布の日から施行し、令和6年4月1日から適用するものでございます。

なお、現在、当市で開設されております小規模保育事業所や事業所内保育事業所につきましては、満3歳未満の乳幼児のみを受け入れる施設となっておりますので、適用日を遡及しても影響を及ぼすものではございません。

最後に、(3)でございますが、本条例の改正に伴い、保育の提供に支障を及ぼす影響がある場合につきましては、当分の間、改正前の配置基準をもって保育を提供することができる旨の経過規定を規定しております。

説明につきましては以上でございます。御審査のほどよろしくをお願いいたします。

○委員長（中島ゆき子議員）

ただいま御説明をいただきました議第66号について質疑を行います。

○委員（中島達也議員）

この条例改正については何も問題ないんですが、今どこも人手不足ということで、特に保育行政、補助員なんかも資格のない方も非常に配置されておるということを聞いておりますが、今、要は不足しているのか、その辺についてちょっと状況だけ説明してください。

○こども家庭課長（奥田真一郎）

現在の各施設の保育士の状況ですけれども、一応国が定めます配置基準につきましては足りているような状況でございます。

ただ、直営こども園につきましては、若干もう少し余力があるといのかなということで、今年度の職員につきましても5人ということで募集をかけさせていただいております。以上でございます。

○委員長（中島ゆき子議員）

ほかにございませんか。

○委員（桂川融己議員）

すみません、今のにちょっと関連する質問でございますが、今国の基準に達しているということで、これは新しくなる基準にも達しているということになるのか、はたまた前の基準は達して当面の間ということはこっちはカバーできるのかというところで、もし数字が分かれば、この20名に対し1人、15人に対し1人みたいな、この辺りの数字のところ分かる範囲で御教示いただければと思います。

○委員長（中島ゆき子議員）

すみません、今質問いただきましたけど、10時もう少し前ですので、しばらくちょっとお待ちいただいでよろしいですか。途中で。お待ちください。

午前9時59分 休憩

午前10時01分 再開

○委員長（中島ゆき子議員）

御協力いただきまして、ありがとうございました。

それでは、今ほどの2番委員の質問に対する答弁をお願いいたします。

○こども家庭課長（奥田真一郎）

先ほどの委員の質問でございますけれども、今、本条例につきましては、小規模保育事業所及び事業所内保育事業所ということで、今市内にありますわかあゆ子育て保育ステーションとか、小規模の施設に対しての条例改正となります。認定こども園等につきましては、県条例の対応となっております、同様の改正がなされるようになっております。

今現在の保育施設の状況でございますけれども、新基準にも対応した保育士の配置人員となっております。以上でございます。

○委員長（中島ゆき子議員）

いいですか。

ほかにございませんか。

[挙手する者なし]

ないようですので、以上で議第66号についての質疑を打ち切ります。

当委員会に審査を付託されました議案について審査が終了しましたので、ただいまから採決を行います。

議第60号 財産の譲与について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第60号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

議第61号 財産の譲与について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第61号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

議第62号 財産の譲与について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第62号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

議第63号 岐阜県後期高齢者医療広域連合規約の一部を改正する規約について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第63号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

議第66号 下呂市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について、本件を原案のとおり決することに賛成の方は挙手願います。

[賛成者挙手]

挙手全員であります。よって、議第66号については、全会一致で可決すべきものに決しました。

以上で、当委員会に審査を付託されました議案の審査を終了します。

午前10時04分 終了